

平成29年度事業報告について

I 概況

本道への自動車関連産業の集積促進を図るため、「北海道自動車産業集積促進アクションプラン」、及び「平成29年度事業計画」に基づき、企業誘致の推進や地場企業の参入促進など基幹部品の生産拠点の形成、自動走行の実証試験誘致など研究開発拠点形成を目指す取組、人材の育成・確保など拠点形成を支える取組として、各種事業を実施した。

主な事業は、以下のとおり。

(1) 企業誘致の推進

- ・ 国内での生産拡大が期待できる次世代自動車等の基幹部品メーカーや、東北の完成車工場に部品を納入している中京圏のサプライヤーなどを重点ターゲットに、リスク分散や東日本におけるサプライチェーン完結の動きを捉えた誘致活動を推進した。
- ・ メールマガジンを活用した情報発信や職場見学会の実施など、進出企業へのフォローアップに取り組んだ。

(2) 地場企業の参入促進、域内取引の拡大

- ・ 品質・コスト・納期（QCD）対応力を強化するため、参入支援エキスパートを配置し、企業の課題解決に向けた個別指導を行ったほか、品質管理技術の向上や基盤技術の高度化を図る研究会や研修会を開催した。
- ・ 新工法・新技術の開発を支援するため、大学や試験研究機関が自動車関連企業との共同研究や技術指導を実施した。
- ・ 自動車産業への参入に向けた取り組みの中で蓄積された技術やノウハウを活かし、本道が強みを有する食関連産業や、成長の可能性が高い健康長寿分野への参入に向けた取り組みを支援した。
- ・ 取引機会の開拓のため、道内大手進出企業の道内調達に向けたマッチングや販路開拓員による中京圏・東北地域での情報の発信・収集等に取り組むとともに、道内・首都圏や中京圏での展示商談会を開催した。
- ・ 航空宇宙関連研究・実験等の誘致や道内企業の参入促進に向け、セミナーや工場見学会を開催した。

(3) 次世代自動車を見据えたチャレンジ

- ・ 企業や支援機関等の参画による北海道発EV研究開発・利活用研究会における本道独自の寒冷地仕様の電気自動車等の開発・利活用に関する検討などに取り組んだ。

(4) 自動走行の実証試験誘致

- ・ 自動走行の研究開発促進に向け、「ワンストップ窓口」を運用するとともに、実証試験場・公道モデルコースの誘致に向け、関係省庁への要請を行った。

(5) 人材の育成・確保

- ・ 女性・若者のものづくり産業への理解促進のため、ものづくりなでしこ応援プロジェクトの展開や小中学生に対するものづくり体験会・工場見学会等の開催、札幌モーターショー2018やラリー北海道2017、2017サイエンスパークへの出展など、ものづくりの魅力の発信を行った。
- ・ ものづくり人材の確保のため、若年者に対するカウンセリングの実施や、若年者、中高年齢者対象の合同企業説明会の開催、QC活動導入研修の開催や、総合的なネットワークサイトによる情報提供など、産学官が連携した人材育成事業を行った。

- ・ものづくり人材の確保のため、インターネットを活用したU・Iターンなどの求人・求職情報の提供などを行った。

(6) 各取組を支える環境づくり

- ・愛知県において、東北7県と合同で展示商談会を開催するとともに、道内及び東北で北海道・東北の企業を対象とした工場見学会や交流会を開催するなど、東北7県との連携関係の構築に取り組んだ。
- ・物流コストの低減に向け、関係機関と連携した視察会などを実施した。

II 総会、幹事会等

1	平成29年度総会
	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成29年6月7日 ・会場：札幌市教育文化会館 ・参集：企業等45社・機関 109名 <p>《講演会》</p> <p>「自動運転の技術開発動向とJARIの取組み」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師（一財）日本自動車研究所（JARI）ITS研究部 部長 谷川 浩 氏 <p>《総会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題：報告第1号 平成28年度事業報告 議案第1号 『アクションプラン(2017-2020) (案)』について 議案第2号 平成29年度事業計画(案)について 議案第3号 役員の改選(案)について

2	幹事会
	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日：平成29年6月1日 <p>・議題：報告第1号 平成28年度事業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 議案第1号 『アクションプラン(2017-2020) (案)』について 議案第2号 平成29年度事業計画(案)について 議案第3号 役員の改選(案)について

3 メールニュース、ホームページでの情報提供

- ① 北海道自動車産業集積促進協議会メールニュース（HAIAニュース）の配信
各支援機関の各種施策やイベント等の情報などを会員へ配信（平成30年3月末までに累計606号配信）
- ② 北海道自動車産業集積促進協議会ホームページによる情報発信
協議会の設立趣旨や計画、活動実績などに加え、各種施策やイベントの募集などの最新情報を掲載。

III 各種事業の実施

1 部品の生産拠点形成を目指した取組

《企業誘致の推進》

(1) 本道の立地環境の優位性に関する情報発信力等の強化

リスク分散や東日本におけるサプライチェーン完結の動きを捉えたトップセールスや企業誘致サポーターを活用した戦略的なセールスなど積極的な誘致活動などに取り組んだ。

① 「メッセナゴヤ2017」への出展

日本最大級の異業種交流展示会「メッセナゴヤ」に出展し、本道の自動車関連産業に係るオンリーワン技術等の展示を行ったほか、進出企業によるプレゼンを行い、北海道の立地環境をPR。

◎ 開催期間：平成29年11月8日～11日

◎ 出展概要

《展 示(北海道ブース)》

出展数 12企業・4大学・2団体・7自治体、ブース来場者 1,971名

■ 企業

上原ネームプレート工業(株) (株)徳重 (株)北海道PVGS (株)ビックボイス
 (株)ナカガワ工業 (株)西野製作所 新日鐵住金(株)室蘭製鐵所 佐藤鑄工(株)
 (株)ディー・ビー・シー・システム研究所 (株)東穂
 (株)キメラ (株)ネクステック

■ 大学

①北海道大学、②室蘭工業大学、③北見工業大学、④はこだて未来大学

■ 団体

①公益財団法人道央産業振興財団 ②北海道胆振総合興局

■ 自治体

①旭川市 ②函館市 ③室蘭市 ④登別市 ⑤千歳市 ⑥苫小牧市 ⑦石狩市

《プレゼンテーションセミナー(11月8日)苫小牧市・千歳市合同開催》

■ プレゼンター

・株式会社ダイナックス 執行役員 本村 正樹 氏
 ・苫小牧市副市長佐藤裕・千歳市副市長 横田 隆一 氏

北海道、北海道企業誘致推進会議

② 中京圏・東北地域での自動車関連企業OB等による企業情報の収集

中京圏・東北地方企業の投資案件や発注案件についての情報収集や道内の立地環境や技術情報の発信を通じてマッチング等を行う販路開拓員(自動車関連企業OB)の配置

◎ 販路開拓員(中京圏2名、東北1名配置)による企業訪問等 242件

北 海 道

③ 自動車メーカー等へのトップセールス

知事が、自動車メーカー等の役員に立地環境のPRなどを実施

◎ (株)デンソー 【平成29年10月23日】

◎ 日本電産(株) 【平成29年12月7日】

北海道、北海道企業誘致推進会議

④ 北海道ビジネスフォーラムの開催

中京圏において、本道のビジネス環境をPRするフォーラムを開催

◎ 開催日/開催地：平成30年2月1日/名古屋市

◎ プレゼンター

・トヨタ自動車北海道(株) 顧問 田中 義克氏
 ・中北薬品(株) 代表取締役社長 中北 馨介氏

北海道、北海道企業誘致推進会議

⑤ 企業立地への助成制度

北海道産業振興条例(通称)に基づき、新規立地・増設に対する助成を実施

北 海 道

⑥ 北海道ものづくり産業アドバイザー等の設置

ものづくり産業に関する優れた知見を有し、かつ、企業活動の業務に精通している「北海道ものづくり産業アドバイザー」や「北海道企業誘致サポーター」を設置し、アドバイザー等による企業誘致活動や参入促進に向けた支援を実施

◎ 北海道ものづくり産業アドバイザー

- ・杉本 正和 氏 (前 (株)デンソー北海道 代表取締役社長) 平成27年7月16日就任
- ・後藤 正治 氏 (前 アイシン北海道(株) 代表取締役) 平成29年12月19日就任

◎ 北海道企業誘致サポーター 12人委嘱

北海道

(2) 新たな立地環境の優位性の発掘 (コンテンツづくり)

本道の立地優位性を高めていくため、女性の活躍をはじめとしたものづくり産業を支える人材の育成・確保や物流の効率化、新たな視点や今後成長が見込まれる分野の企業誘致などを推進した。

① 次世代自動車産業集積・人材育成事業(ものづくり現場見学・出前授業等)

大学生・高専生・高校生を対象とした現場見学会や出前授業などを実施し、ものづくり現場の魅力を広くPR

- ◎ ものづくり企業の現場見学会 : 3回(参加者:82名)
- ◎ ものづくり企業による出前授業: 3回(参加者:194名)
- ◎ 製造業で活躍する社員(ロールモデル)を取材したものづくりPRリーフレット「つくりーと」作成
- ◎ 「ビジネスEXPO」における「ものづくりなでしこゾーン」展開

北海道

② SCM (サプライチェーンマネジメント) 研究会による視察会の実施

北海道・札幌市・(一社)北海道商工会議所連合会と連携し、「SCM (サプライチェーンマネジメント) 研究会」として、現場視察・意見交換会開催

- ◎ 第9回視察会:平成29年7月4日 札幌中央卸売市場
- ◎ 意見交換会:平成30年1月15日 研究会監事メンバー

北海道経済連合会

③ 物流コスト低減に向けた参入支援エキスパートの配置

物流コストの低減に向けた専門の「参入支援エキスパート」を1名配置

北海道、(一社)北海道機械工業会

④ 健康・医療産業立地促進事業

「健康・医療」関連分野の企業立地に向けたビジネス環境や、道内企業の技術力などを発信する取組を実施

- ◎ 北海道参入促進セミナーの実施 参加者数 63名
- ◎ 立地促進セミナーの実施
 - ・開催日/会場:平成29年10月13日/パシフィコ横浜
 - ・参加者数 61名
- ◎ 「バイオジャパン2017」への出展
 - ・開催日/会場:平成29年10月11日~13日/パシフィコ横浜
 - ・参加企業数:6大学、1社
- ◎ 「メディカルジャパン 2018」への出展
 - ・開催日/会場:平成30年2月21日~23日/インテックス大阪
 - ・参加企業数:9社

⑤ 航空宇宙産業創出推進事業

航空宇宙分野への参入促進を図るため、意見交換の場の設置、セミナー・見学会を開催

◎ 航空機部品市場新規参入セミナー

- ・開催日/会場：平成29年8月7日/札幌市
- ・参加者数：88名
- ・講師

経済産業省製造産業局 航空機部品・素材産業室 係長 大門 卓登

三菱重工業(株)防衛・宇宙セグメント 航空機・飛昇体事業部飛昇体品質保証課

主席 渡邊 靖氏、主任 浜永 貴光氏

イーグル工業(株) 執行役員 航空宇宙事業部事業部長兼北海道イーグル(株)取締役 松本 洋志氏

◎ 航空機部品市場参入のための品質保証と経営戦略勉強会

- ・開催日/会場：平成30年2月8日/室蘭市
- ・参加者数：32名
- ・講師

(株)ティ・エフ・マネジメント 代表取締役 門間 清秀氏

◎ 航空宇宙産業製造現場見学会

- ・開催日/見学先：平成29年12月19日～20日/愛知県(玉川工業(株)、三菱重工業(株))
- ・参加者数：14社・団体、25名

北海道、北海道経済産業局、(一社)北海道機械工業会

(3) 進出企業へのフォローアップ

進出企業の課題・ニーズへの対応に向けて、訪問やメールマガジン等を活用した様々な情報提供など、フォローアップに努めた。

① 総合相談窓口におけるワンストップサービスの提供

「自動車産業総合支援室」における企業からの相談へのワンストップ対応

◎ 具体的な事例

- ・道外企業から、取引先の検討に関する相談
- ・道内立地企業から増設等に係る立地支援制度に関する相談 など

② メールニュース・ホームページでの情報発信

各支援機関の各種施策やイベント等の情報などの、北海道立地企業情報ネットワークの登録者へ配信
(平成30年3月末までに累計126号を配信)

〈〈地場企業の参入促進、域内取引の拡大〉〉

(1) 自動車関連産業への参入に向けたQCD対応力や新技術・新工法の強化

自動車産業が求める高いQCDへの対応力の強化に向けて、各種支援機関や進出メーカー、自動車メーカーOBなどの様々な力を動員し、地場企業の技術的課題解決などに取り組んだ。

① 革新的ものづくりや生産性向上を促す設備投資等への支援

経営力向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための中小企業・小規模事業者の設備投資等の一部補助

◎ 革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金(平成28年度補正)

・採択件数：176件(全業種)

・採択事業者：シンセメック(株)、佐藤鋳工(株)、北海バネ(株)、京浜精密工業(株)、(株)池田熱処理工業など

中小ものづくり高度化法の12分野を対象とした研究・開発から製品の販路開拓までの取組を支援

◎ 戦略的基盤技術高度化支援事業

・採択件数：3件

<情報処理分野>

■ テーマ「積雪寒冷地域の交通弱者移動支援のための雪道走行を可能とする自動運転技術の開発」

・事業管理機関：(株)ヴィッツ

・事業者名：(株)ヴィッツ、アーク・システム・ソリューションズ(株)

北海道経済産業局

② 高度技術研修「ものづくりセミナー」開催

室蘭工業大学と(一社)北海道機械工業会の共同による、道内ものづくり企業の技術力向上を図るセミナーの開催

◎ 開催日/開催地：平成30年2月19日/札幌市

◎ テーマ：進化する3Dプリント造形技術の最新動向と応用

①【3Dプリンタ利用技術の最新動向】

講師 道総研 工業試験場 製品技術部 主任主査 戸羽 篤也 氏

②【金属3Dプリント技法を支える研究開発】

講師 室蘭工業大学 工学研究科 もの創造系領域 講師 長船 康裕 氏

③【3Dプリンタ技術の最新動向とその応用】

講師 (株)J・3D 代表取締役 高関 二三男 氏

④【3Dプリンタ市場への誤解とJMCの出力サービス】

講師 (株)JMC 代表取締役 CEO 渡邊 大和 氏

・参加者 75名

室蘭工業大学、(一社)北海道機械工業会

③ 公設試験研究機関、大学等による技術指導や共同研究の実施

自動車関連の共同研究等を実施

◎ 工業試験場 共同研究 2件

◎ 北海道大学 共同研究 8件

◎ 室蘭工業大学 共同研究 12件

合 計 共同研究 22件

(地独)北海道立総合研究機構、北海道大学、室蘭工業大学

④ 自動車関連技術高度化支援

自動車部品等への参入に不可欠な生産技術の高度化を図るため、以下の研究会を開催

◎ 北海道プレス加工研究会

・開催日/会場：平成29年11月14日、11月15日/工業試験場

・参加者数：5社 16名

◎ 鋳造技術研究会

・開催日/会場：平成30年1月18日、2月7日/工業試験場

・参加者数：9社 13名

◎ 3D設計・加工研究会

- ・開催日/会場：平成29年11月6日～7日、11月8日/工業試験場
- ・参加者数：12社 12名

(地独)北海道立総合研究機構

⑤ 生産管理・品質管理技術強化支援、製品開発支援等に係る研修会等の開催

生産管理自己診断システムの普及促進を図り、企業自らが自社の強み・弱みを総合的に把握・判断し、生産現場のカイゼンに取り組むことができる中核人材（評価担当者）の育成

◎ 中核人材育成研修

- ・開催日/開催地：平成29年11月2日、12月6日/札幌市
- ・講師：バリュー・イノベーション・コンサルティング代表 竹中 弘路氏 ほか
元トヨタ自動車北海道（株）取締役技術部長 齋藤 均氏
- ・参加者数：延べ17名

企業の利益アップに直結する原価管理の手法やコストダウンのやり方などを、演習を交えて実践形式で学ぶためのゼミナールを開催

◎ 原価管理・コスト改善ゼミナール

- ・開催日/開催地：平成29年10月5日、10月26日、11月6日/札幌市
- ・講師：堀口ビジネスコンサルティング 代表 堀口 敬氏
- ・参加者数：延べ66名

「視線ツールを用いた技能伝承支援システム」や「AHP技法」等を活用した品質評価技術の向上を図る研修開催

◎ 品質評価技術研修

- ・開催日/開催地：平成29年9月21日、10月6日、11月24日/札幌市
- ・講演：産業技術総合研究所 主任研究員 瀬渡 直樹氏
専修大学 教授 高萩 栄一郎氏
トビー・テクノロジー(株) 北村 公亮氏
- ・参加者数：延べ34名

製品やサービスの高付加価値化等に向け、優れた企画立案や効率的な商品企画をマネジメントできる人材の育成を図るため研修等を開催

◎ 商品企画実践講座

- ・開催日/開催地：平成29年5月17日～12月22日 9回/札幌市
- ・講師：有限会社エッチビーアイ 代表取締役/工業デザイナー 大塚 聰氏
- ・参加者数：12名

(地独)北海道立総合研究機構、北海道

⑥ 標準化と品質管理推進のための大会や講演会開催

ものづくり企業の標準化と品質管理の実践を進めるため、講演会を開催

◎ 「標準化と品質管理北海道地区大会2017」開催

- ・開催日/開催地：平成29年10月20日/札幌市
- ・講演：「“Connected Industries”の実現に向けた標準化政策」など
経済産業省産業技術環境局 国際電気標準課 統括基準認証推進官 野口 康成氏 ほか
- ・参加者数：122名

◎ 「品質月間 特別講演会」開催

- ・開催日/開催地：平成29年11月16日/札幌市
- ・講演：「スマートプロセスにおける新たな品質マネジメント」
／文教大学情報学部 教授 長田 洋氏
「行為保証」で見える現場ノウハウを使ったプロセス管理
／(株)遠藤メソッド 代表取締役 遠藤 勇氏
- ・参加者数：30名

⑦ 製品開発、販路拡大等の支援

北海道産業振興条例（通称）に基づく製品開発等への助成

◎ 市場対応型製品開発支援事業

北海道、(公財)北海道中小企業総合支援センター

⑧ 参入支援チーム活動促進事業

(一社)北海道機械工業会内に参入支援チームを設置し、自動車や食関連機械分野の技術等に詳しい専門家を参入支援エキスパートとして配置。道内企業のQCD対応力の強化や自動車・食関連機械メーカーへのアプローチ力に関する指導を実施。

◎ 支援体制：参入支援マネージャー 1名、参入支援エキスパート 8名

◎ 利用企業数：13社（15課題） 114回

(一社)北海道機械工業会において、自動車・食関連機械分野への参入をテーマに、新規参入意欲を有する企業の掘り起こしや個別課題の把握を目的とした相談会を開催

◎ 北見地域 技術セミナーと相談会((公財)オホーツク地域振興機構、北見工業技術センター 共催)

・開催日/開催地：平成30年1月25日/北見市

・参加者数：11名

◎ 札幌地域相談会(室蘭工業大学 共催)

・開催日/開催地：平成30年2月19日/札幌市

・参加者数：75名

北海道、(一社)北海道機械工業会

⑨ 道内企業の技術優位性向上のための講習会の開催

デジタルデータを基に製品や部品の設計、試作開発、生産の効率化を図るデジタルエンジニアリング技術の効果的な導入を図るためのセミナー等開催

◎ デジタルエンジニアリングによる設計・解析技術紹介セミナー

・開催日/開催地：平成29年12月13日/札幌市

・講師：東京大学大学院 工学系研究科精密工学専攻 教授 鈴木 宏正氏

本田技研工業(株) 企業プロジェクト 高山 光弘氏

・参加者：6社8名

◎ 3次元CADモデリング研修会

■ 初心者・復習希望者向けコース

・開催日/開催地：平成29年11月6日～7日/札幌市

・講師：(株)アプリクラフト 女井 誠司氏

・参加者：8社11名

■ 上級者向け

・開催日/開催地：平成29年11月8日/札幌市

・講師：(株)アプリクラフト 女井 誠司氏

・参加者：3社3名

◎ 高周波電子回路設計技術セミナー

・開催日/開催地：(1)平成29年9月19日、(2)平成30年3月9日/札幌市

・講師：(1)キーサイト・テクノロジー合同会社 佐々木 広明氏

(株)東陽テクニカ 生田 純也氏

(2)(株)東陽テクニカ 中村 哲也氏

キーサイト・テクノロジー合同会社 佐々木 広明氏

・参加者：(1)6社6名、(2)6社6名

◎ AM技術講習会

・開催日/開催地：(1)平成30年1月18日、(2)平成30年2月7日/札幌市

<ul style="list-style-type: none"> ・内容：(1) エムエスシーソフトウェア(株) 成田 忍氏 <li style="padding-left: 2em;">(2) アルテアエンジニアリング(株) 安部 大生氏 <li style="padding-left: 4em;">(株)日立産業制御ソリューションズ 瀬ヶ沼 茂行氏 ・参加者：(1) 7社10名、(2) 9社13名 ◎ プレス加工シミュレーション技術研修会 ・開催日/開催地：平成29年11月14日～15日/札幌市 ・内容：(株)テラバイト 長谷川 実氏、高橋 達朗氏、石垣 佑馬氏 ・参加者：5社8名
北海道、(地独)北海道立総合研究機構

(2) 東日本地域のサプライチェーンなど道内外ターゲットとのマッチング

東日本地域のサプライチェーンなどをターゲットとした取引機会の開拓に向けて、東北7県とも連携しながら道内の優れた技術をアピールする展示会の開催などに取り組んだ。

① 「北洋銀行ものづくりテクノフェア2017」の開催

<p>優れた技術や製品を有する道内の中小企業、大学、支援機関や東北など他県の企業等が一堂に会し、販路拡大や情報交換を図る展示商談会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 開催日/開催地：平成29年7月20日/札幌市 ◎ 出展者数：220社・団体 ◎ 来場者数：約4,800名 ◎ 商談件数：1,200件
(株)北洋銀行

② ビジネスEXPO「第31回 北海道技術・ビジネス交流会」の開催

<p>「躍動、革新、北海道！」をテーマに、企業・大学・試験研究機関の研究開発製品やノウハウをアピールする展示商談会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 開催日/開催地：平成29年11月9日～10日/札幌市 ◎ 出展者数：345社・団体 ◎ 来場者数：20,850名 ◎ 商談件数：6,933件 ※ ビジネスセミナー <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 「人間は人工知能とどう付き合っていくべきか」松原 仁氏
北海道技術・ビジネス交流会実行委員会

③ 受発注拡大商談会の開催

<p>道内外発注企業と道内受注企業との個別面談形式による商談会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 「ほっかいどう受発注拡大商談会」開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日/開催地：平成29年7月10日/札幌市 ・参加企業：【発注企業】33社(うち道外7社)【受注企業】69社 ・商談件数：227件(自動車関連以外も含む) ◎ 「ほっかいどう受発注拡大商談会in旭川」開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日/開催地：平成29年10月24日/旭川市 ・参加企業：【発注企業】21社(うち道外6社)【受注企業】35社 ・商談件数：114件(自動車関連以外も含む) ◎ 「ほっかいどう広域商談会in東京」開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日/開催地：平成30年2月22日/東京都 ・参加企業：【発注企業】17社【受注企業】23社
--

・商談件数：85件(自動車関連以外も含む)
(公財)北海道中小企業総合支援センター、(一社)北海道機械工業会

④ 「とうほく・北海道新技術・新工法展示商談会」への出展

愛知県豊田市トヨタ自動車(株)本館ホールで開催された「とうほく・北海道新技術・新工法展示商談会」に出展し、来場者に対し北海道の自動車関連技術に関する情報発信等を実施
◎ 開催日/開催地：平成30年2月1日、2日/愛知県豊田市
◎ 出展者：103ブース(うち道内企業は12ブース)
◎ 来場者：トヨタ自動車関係者など 約2,250名
北海道、(独)中小企業基盤整備機構北海道本部

⑤ 東北地域との連携による「工場見学・交流会」の開催

北海道・東北の企業を参集し、工場視察及び製造部品・治工具等の概要説明等を実施したほか、北海道・東北企業の交流会を実施
◎ アイシン北海道「参入交流会・工場見学会」
・開催日/開催地：平成30年2月13日/苫小牧市
・参加企業：北海道 25社2団体、東北 12社4団体
岩手県・秋田県内において、工場視察及び交流会を実施
◎ 東北地域工場見学会・交流会
・開催日/開催地：平成30年2月22日、23日
岩手県(トヨタ自動車東日本(株)岩手工場)、秋田県(秋田渥美工業(株))
・参加企業：北海道 3社1団体、東北 4社
北海道

⑥ 北海道ものづくり産業アドバイザー等の設置【再掲】

ものづくり産業に関する優れた知見を有し、かつ、企業活動の業務に精通している「北海道ものづくり産業アドバイザー」や「北海道企業誘致サポーター」を設置し、アドバイザー等による企業誘致活動や参入促進に向けた支援を実施
◎ 北海道ものづくり産業アドバイザー
・杉本 正和 氏(前(株)デンソー北海道 代表取締役社長) 平成27年7月16日就任
・後藤 正治 氏(前 アイシン北海道(株) 代表取締役) 平成29年12月19日就任
◎ 北海道企業誘致サポーター 12人委嘱
北海道

⑦ 道内進出企業の道内調達等に向けたマッチング

道内大手進出メーカー等の調達に向けた動きを把握するため、調達率に関する調査を実施するとともに、道内企業の参入に向けたマッチングを開催
◎ 調査依頼先：トヨタ自動車北海道(株)、(株)ダイナックス、(株)デンソー北海道、アイシン北海道(株)、パナソニックスイッチングテクノロジーズ(株)、いすゞエンジン製造北海道(株)
北海道

⑧ 中京圏・東北地域での自動車関連企業OB等による企業情報の収集【再掲】

中京圏・東北地方企業の投資案件や発注案件についての情報収集や道内の立地環境や技術情報の発信を通じてマッチング等を行う販路開拓員(自動車関連企業OB)の配置
◎ 販路開拓員(中京圏2名、東北1名配置)による企業訪問等 242件
北海道

⑨ 専門調査員による受発注情報の収集・提供等

首都圏に広域専門調査員を配置（2名）し、首都圏等発注情報を収集
◎ 企業訪問件数：278件 ※自動車関連以外も含む

(公財)北海道中小企業総合支援センター

⑩ 商談・企業情報の発信（HP）

(公財)北海道中小企業総合支援センターのホームページにおいて「北海道企業情報データベース」等により企業情報等を紹介

◎ 北海道企業情報データベースによる紹介

- ・道内製造業が、「どこに」「どんな企業があり」「何が作れるか」を紹介
- ・登録企業数 2,637社（建設業、情報サービス業等を含む）

(公財)北海道中小企業総合支援センター、北海道

⑪ 企業情報の発信（HP）

(一財)さっぽろ産業振興財団のホームページにおいて企業情報等を紹介

◎ さっぽろ産業ポータルサイトの開設

- ・札幌の産業・経済・イベント・技術等の情報を手軽に検索・収集や発信が可能
- ・支援機関等からの、入札情報・補助金情報・融資情報などを紹介
- ・企業情報データベース：札幌の企業 1,583社を紹介（自動車関連以外も含む）

(一財)さっぽろ産業振興財団

(3) 新たな分野への展開

本道が強みを有する食に関連する機械分野を重点として、自動車産業への参入に向けた取組の中で蓄積された高い技術・ノウハウを活かした関連機械の開発の促進などに取り組んだ。

① 食関連機械分野販路拡大事業

道内機械メーカーと道内外食品メーカー等のマッチングによる幅広い取引機会の開拓、道内機械メーカーを対象に食品工場の製造ラインに係る視察会開催

◎ 「ふじのくに総合食品開発展2018」出展

- ・開催日/開催地：平成30年1月31日/静岡県
- ・出展数：178社（道内 5社）
- ・来場者：1,025名

◎ 「(有)ほんだ菓子司本社工場 製造現場見学会」開催

- ・開催日/開催地：平成30年3月19日/砂川市
- ・参加数：9社10名

◎ 「(株)佐藤水産石狩工場 製造現場見学会」開催

- ・開催日/開催地：平成30年3月28日/石狩市
- ・参加数：1社2名

北海道

② 「健康・医療」関連分野参入促進事業

「健康・医療」関連分野参入に向けた環境づくりや技術力を発信する取組を実施

- ◎ 参入促進セミナー
 - ・開催日/開催地：平成29年8月2日/札幌市
 - ・参加者数：63名
- ◎ 「ホスペックスジャパン 2017」への出展
 - ・開催日/会場：平成29年11月20日～22日/東京ビックサイト
 - ・参加企業数：10社
- ◎ 「メディカルジャパン 2018」への出展【再掲】
 - ・開催日/会場：平成30年2月21日～23日/インテックス大阪
 - ・参加企業数：9社
- ◎ 道外医療機器メーカー工場見学会の実施（平成29年12月8日）
 - ・見学先：愛知県春日井市内企業1工場及び岐阜県土岐市内1研究施設
 - ・参加者数：10名

北海道

③ 「健康・医療」関連分野における道内ものづくり企業の参入促進プロジェクトの実施

「健康・医療」関連分野における道内ものづくり企業の参入促進プロジェクトの実施

- ◎ 平昌パラリンピックに向けた競技用シットスキーの開発（H28～H29）
障害者冬季クロスカントリースキー競技で、平昌パラリンピック出場を目指す「新田のんの」選手の専用競技用シットスキーを開発するプロジェクトを実施し、ワールドカップ（H28～29）、平昌パラリンピック（H30.3）出場

北海道

④ 航空宇宙産業創出推進事業【再掲】

航空宇宙分野への参入促進を図るための意見交換の場の設置、セミナーや見学会の開催

- ◎ 航空機部品市場新規参入セミナー
 - ・開催日/会場：平成29年8月7日/札幌市
 - ・参加者数：88名
 - ・講師
経済産業省製造産業局 航空機部品・素材産業室 係長 大門 卓登
三菱重工業(株)防衛・宇宙セグメント 航空機・飛昇体事業部飛昇体品質保証課
主席 渡邊 靖氏、主任 浜永 貴光氏
イーグル工業(株) 執行役員 航空宇宙事業部事業部長兼北海道イーグル(株)取締役 松本 洋志氏
- ◎ 航空機部品市場参入のための品質保証と経営戦略勉強会
 - ・開催日/会場：平成30年2月8日/室蘭市
 - ・参加者数：32名
 - ・講師
(株)ティ・エフ・マネジメント 代表取締役 門間 清秀氏
- ◎ 航空宇宙産業製造現場見学会
 - ・開催日/見学先：平成29年12月19日～20日/愛知県(玉川工業(株)、三菱重工業(株))
 - ・参加者数：14社・団体、25名

北海道、北海道経済産業局、(一社)北海道機械工業会

⑤ 参入支援チーム活動促進事業【再掲】

(一社)北海道機械工業会内に参入支援チームを設置し、自動車や食関連機械分野の技術等に詳しい専門家を参入支援エキスパートとして配置。道内企業のQCD対応力の強化や自動車・食関連機械メーカーへのアプローチ力に関しての指導を実施。

◎ 支援体制：参入支援マネージャー 1名、参入支援エキスパート 8名 ◎ 利用企業数：13（15課題） 114回
（一社）北海道機械工業会において、自動車・食関連機械分野への参入をテーマに、新規参入意欲を有する企業の掘り起こしや個別課題の把握を目的とした相談会を開催 ◎ 北見地域 技術セミナーと相談会（(公財)オホーツク地域振興機構、北見工業技術センター 共催） ・開催日/開催地：平成30年1月25日/北見市 ・参加者数：11名 ◎ 札幌地域相談会（室蘭工業大学 共催） ・開催日/開催地：平成30年2月19日/札幌市 ・参加者数：75名
北海道、（一社）北海道機械工業会

《次世代自動車を見据えたチャレンジ》

（1）電気自動車、燃料電池車等の普及や電気自動車の高度化を見据えた取組の展開

電気自動車、水素社会を見据えた燃料電池車等の普及や電気自動車の高度化を見据え企業や支援機関等の参画による北海道発EV研究開発・利活用研究会における本道独自の寒冷地仕様の電気自動車等の開発・利活用に関する検討などに取り組んだ。

① 北海道発の次世代EVの研究開発・利活用プロジェクトの推進

◆北海道発EVの研究開発・利活用の検討 道内ものづくり企業10社をコア企業・連携企業とした北海道発EV研究開発・利活用研究会が作成した北海道発EVについて、平成30年2月の愛知県豊田市で開催された「とうほく・北海道 新技術・新工法展示商談会」に出展。トヨタ自動車関係者に加え、道内および東北の企業に研究開発の取組成果として披露
(独) 中小企業基盤整備機構北海道本部

② 電気自動車等の導入に対する支援

省エネ・CO2排出削減に高い効果を持ち、世界的な市場の拡大が期待される電気自動車等のクリーンエネルギー自動車の導入に対する補助 ◎ クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金
電気自動車等の普及に不可欠な充電設備の設置に係る機器購入費と設置工事費の一部補助 ◎ 電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の充電インフラ整備事業費補助金
燃料電池自動車等に燃料として水素を供給するために必要な設備の整備費用の一部補助 ◎ 燃料電池自動車用水素供給整備設置補助事業
北海道経済産業局

③ 次世代自動車の普及・PR

次世代自動車（燃料電池自動車）を公用車として導入し、試乗会や展示会を開催するなど普及を促進 ・試乗・展示会 全道13地域 22回
北海道

④ 先進的エネルギー関連技術開発支援事業

北海道の豊かな自然や資源、技術シーズを活用し、道内大学や公設試等と連携して行う先進的なエネルギー関連技術の研究開発支援
北海道

⑤ 次世代自動車普及促進事業

各種イベントにおけるパネル展示を活用して、次世代自動車の普及啓発の実施

◎ 平成29年度省エネルギー・新エネルギー普及啓発展でのパネル展示

・開催日/開催地：平成29年8月29日～31日/札幌市

◎ 2017サイエンスパークでのパネル展示

・開催日：平成29年7月28日/札幌市

北 海 道

2 研究開発拠点形成を目指した取組

＜＜自動走行の実証試験誘致＞＞

(1) 自動走行の実証試験の誘致の推進

研究開発面から本道への自動車産業の一層の集積を促進するため、自動走行の実証試験の誘致などに向けた各種の取組を行った。

① 自動走行の研究開発促進及び公道モデルコース・実証試験場の誘致に向けた取組

■ 北海道自動車安全技術検討会議の設置

自動走行の研究開発促進に向けた環境を整備するため、産学官の連携のもと、平成28年6月に「北海道自動車安全技術検討会議」を設置し、企業の取組を支援する「ワンストップ窓口」を開設。

また、平成29年9月には、自動走行を社会に根付かせる環境づくりを進めるため、北海道自動走行ビジネス化調査研究プラットフォームを立ち上げ、サービスの質の向上や人手不足の緩和などにつながる活用方法について、自動車を活用したビジネスを展開している事業者等からの提案を受け、具体化する取組を行っている。

◎ ワンストップ窓口での支援内容

① 警察庁「自動走行システムに関する公道実証実験のためのガイドライン」に基づく関係機関への事前連絡

② 企業の開発ニーズに応じた公道実証試験の適地選定の参考となる道路の情報提供

③ 自動走行などの自動車安全技術に関する大学・高専や道内企業の研究・技術シーズ等の紹介・マッチングなど

◎ 利用件数 69件（3月末現在）

■ 自動走行公道実証試験適地情報の提供

自動走行に必要な機器類等の実証試験に適した場所（公道）に関する問合せにスピーディーに対応するため、テストコースが集積する上川、胆振・日高、オホーツク及び十勝の4地域の高規格幹線道路を含む国道、道道について、道路形状や周辺環境等の項目について取りまとめたデータベースを構築し、位置情報をワンストップ窓口で提供できる体制を整備。

北 海 道

3 拠点形成を支える取組

《人材の育成・確保》

(1) 子ども、若者や女性などへのものづくり産業の正しい理解の促進

次代の担い手となる子ども、若者や女性などのものづくり産業に対する正しい理解の促進に向けた、ものづくりなでしこ応援プロジェクトなどに取り組む。

① 次世代自動車産業集積・人材育成事業

大学生・高専生・高校生を対象とした現場見学会や出前授業などを実施し、ものづくり現場の魅力を広くPR【再掲】
◎ ものづくり企業の現場見学会 : 3回(参加者:82名)
◎ ものづくり企業による出前授業: 3回(参加者:194名)
◎ 製造業で活躍する社員(ロールモデル)を取材したものづくりPRリーフレット「つくりーと」作成
◎ ビジネスEXPOでの「ものづくりなでしこゾーン」展開
「2017サイエンスパーク」において、ものづくり産業への理解促進を図るため、子どもや若者が「見て」「聞いて」「体験」できる各種の取組を展開
◎ 「2017サイエンスパーク」への北海道自動車・ものづくり産業ゾーン出展 ・開催日/開催地:平成29年7月28日/札幌市
「ラリー北海道2017」と連動して、来場する若者をはじめ広く一般道民に本道ものづくり産業が持つ次世代自動車関連技術等を発信
◎ 「ラリー北海道2017」への北海道自動車産業ゾーン出展 ・開催日/開催地:平成29年9月15日~17日/帯広市
「札幌モーターショー2018」において、北海道発EV開発の取組をはじめとした道内ものづくり企業の技術力やものづくりの魅力などのPRを実施
◎ 「札幌モーターショー2018」への北海道自動車産業ゾーン出展 ・開催日/開催地:平成30年1月19日~21日/札幌市
北海道、(独)中小企業基盤整備機構北海道本部

② 小中学生のものづくり体験

高等技術専門学院等において、小・中学生を対象にもものづくり体験会を開催
◎ 開催回数:9回
◎ 参加人数:小中学生575名
北海道

自動走行やEVなど次世代自動車及び自動車産業等への理解促進を図るため、小学生及び保護者を対象に自動車の自動走行の仕組みの学習、先進安全技術の体験及び電気自動車の展示等を行うイベントをNo Maps連携事業として開催
◎ 「くるま未来体験教室」 ・開催日/開催地:平成29年10月8日/札幌市
北海道、(公財)自動車技術会北海道支部・関東支部、北海道発EV研究開発・利活用研究会

(2) ものづくりを支える人材の確保や育成等

高度な技術・技能を有する人材の確保に向け、就業の促進に向けた合同企業説明会などマッチングの取組や研修など技術高度人材の育成に取り組んだ。

① ものづくり企業の人材確保への支援

<p>ジョブカフェやジョブサロンにおけるカウンセリングの実施や合同企業説明会を開催</p> <p>◎ カウンセリング：延べ人数675名 就職決定者数97名（3月末現在）</p> <p>◎ 合同企業説明会：17回開催 参加者数 1,631名 就職決定者数 204名（3月末時点）</p> <p>U・Iターンネットシステムにより道外在住の高度技術者等に求人情報を提供。</p> <p>◎ 求人企業登録者数：461社（3月末現在）</p> <p>◎ U・Iターン求職者登録数：232名（3月末現在）</p>
北海道

<p>苫小牧市及びCOC+事業に取り組む室蘭工業大学が連携し、苫小牧地区における自動車関連企業の担当者によるガイダンスを実施</p> <p>◎ 苫小牧地区自動車関連企業就職ガイダンス</p> <p>・参加者 企業7者 学生41名</p>
苫小牧市、室蘭工業大学

② 関係機関が連携した人材育成支援体制の構築

<p>国や道、大学、経済界、人材育成機関などが連絡調整や連携した取組を行う総合的な人材育成支援体制として、北海道産業人材育成連携会議設置</p> <p>◎ 構成：23機関</p> <p>◎ 開催：会議1回（平成29年度）</p> <p>◎ 協議内容：北海道産業人材育成企業知事表彰受賞候補事業所選考</p>
<p>北海道産業人材育成ネットワークサイトによる、道内各機関が実施する研修やセミナー、道内市町村等の人材育成支援制度の紹介、工場見学・各種体験など次世代人材の育成に取り組んでいる企業情報の提供。</p> <p>◎ 道内各機関の産業人材育成に関する研修・セミナーを一元化して掲載し情報提供</p> <p>◎ ネットワークサイト内／研修・セミナーポータルサイト（平成29年度実績）</p> <p>・掲載実績：130機関 1,172講座</p> <p>・アクセス数：1,598アクセス</p>
<p>北海道経済産業局、北海道労働局、北海道、(独)中小企業基盤整備機構北海道本部、(公財)北海道中小企業総合支援センター、北海道経済連合会、(一社)北海道機械工業会、北海道職業能力開発協会、ポリテクセンター北海道、北海道大学、北海道道科学大学、室蘭工業大学、苫小牧高専 ほか</p>

③ QCサークル活動の普及促進

<p>QC手法についての基本講座とともに演習によりQC手法を体験する研修会を開催</p> <p>◎ 道央地区（札幌高等技術専門学院）</p> <p>・開催日/開催地：平成29年6月21日/札幌市</p> <p>・参加者：14社41名</p> <p>◎ 道南地区（渡島総合振興局）</p> <p>・開催日/開催地：平成29年9月8日/函館市</p> <p>・参加者：6社12名</p> <p>◎ 道東地区（十勝総合振興局）</p> <p>・開催日/開催地：平成29年10月13日/帯広市</p> <p>・参加者：9社22名</p>
北海道、QCサークル北海道支部

④ ものづくり企業の魅力発信

<p>新たなビジネスマッチングの機会を増やすとともに、若年者等の「ものづくり」に対する理解を深めるため、インターネット等を活用した道内ものづくり企業の魅力情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 専用ウェブサイト「GOOD ジョブ北海道」の運営 掲載企業数 22社 ◎ 冊子「GOOD ジョブ北海道」の普及 道北地域版、道東地域版、道央・道南地域版 各4,000部
<p>西胆振地域の高校生を対象に、ものづくりの魅力やものづくり産業への就業意識の醸成を図るため、ものづくり企業の見学、技術体験実習などを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ ものづくり企業見学及び技術体験実習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 工場見学：新日鐵住金(株) 見学及び実習体験：室蘭高等技術専門学院 ・ 開催日 平成29年8月4日 ・ 参加者 12名
北 海 道

(3) 就労環境の整備等

多様な働き手の就業促進に向けた取組を進めるほか、企業としても働きやすい環境など就労環境の整備推進に取り組んだ。

① ものづくり企業の人材確保への支援【再掲】

<p>ジョブカフェやジョブサロンにおけるカウンセリングの実施や合同企業説明会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ カウンセリング：延べ人数675名 就職決定者数97名（3月末現在） ◎ 合同企業説明会：17回開催 参加者数 1,631名 就職決定者数 204名（3月末時点）
<p>U・Iターンネットシステムにより道外在住の高度技術者等に求人情報を提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 求人企業登録者数：461社（3月末現在） ◎ U・Iターン求職者登録数：232名（3月末現在）
北 海 道

② 関係機関が連携した人材育成支援体制の構築【再掲】

<p>国や道、大学、経済界、人材育成機関などが連絡調整や連携した取組を行う総合的な人材育成支援体制として、北海道産業人材育成連携会議設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 構成：23機関 ◎ 開催：会議1回（平成29年度） ◎ 協議内容：北海道産業人材育成企業知事表彰受賞候補事業所選考
<p>北海道産業人材育成ネットワークサイトによる、道内各機関が実施する研修やセミナー、道内市町村等の人材育成支援制度の紹介、工場見学・各種体験など次世代人材の育成に取り組んでいる企業情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 道内各機関の産業人材育成に関する研修・セミナーを一元化して掲載し情報提供 ◎ ネットワークサイト内／研修・セミナーポータルサイト（平成29年度実績） <ul style="list-style-type: none"> ・ 掲載実績：130機関 1,172講座 ・ アクセス数：1,598アクセス
<p>北海道経済産業局、北海道労働局、北海道、(独)中小企業基盤整備機構北海道本部、(公財)北海道中小企業総合支援センター、北海道経済連合会、(一社)北海道機械工業会、北海道職業能力開発協会、ポリテクセンター北海道、北海道大学、北海道道科学大学、室蘭工業大学、苫小牧高専 ほか</p>

③ 「働き方改革」の推進

<p>就業環境の改善に取り組む企業の相談にワンストップで対応する「ほっかいどう働き方改革支援センター」を運営</p>
北 海 道

④ QCサークル活動の普及促進【再掲】

<p>QC手法についての基本講座とともに演習によりQC手法を体験する研修会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 道央地区（札幌高等技術専門学院） <ul style="list-style-type: none"> ・開催日/開催地：平成29年6月21日/札幌市 ・参加者：14社41名 ◎ 道南地区（渡島総合振興局） <ul style="list-style-type: none"> ・開催日/開催地：平成29年9月8日/函館市 ・参加者：6社12名 ◎ 道東地区（十勝総合振興局） <ul style="list-style-type: none"> ・開催日/開催地：平成29年10月13日/帯広市 ・参加者：9社22名
北海道、QCサークル北海道支部

＜＜各取組を支える環境づくり＞＞

(1) 東北7県との連携関係の展開

東北・北海道を一体の圏域とした新たなサプライチェーンの構築の動きを捉えた取組を効果的に展開するため、とうほく自動車産業集積連携会議（東北7県）との連携関係を引き続き展開した。

① 「北洋銀行ものづくりテクノフェア2017」の開催【再掲】

<p>優れた技術や製品を有する道内の中小企業、大学、支援機関や東北など他県の企業等が一堂に会し、販路拡大や情報交換を図る展示商談会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 開催日/開催地：平成29年7月20日/札幌市 ◎ 出展者数：220社・団体 ◎ 来場者数：約4,800名 ◎ 商談件数：1,200件
(株)北洋銀行

② 「とうほく・北海道新技術・新工法展示商談会」への出展【再掲】

<p>愛知県豊田市トヨタ自動車(株)本館ホールで開催された「とうほく・北海道新技術・新工法展示商談会」に出展し、来場者に対し北海道の自動車関連技術に関する情報発信等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 開催日/開催地：平成30年2月1日、2日/愛知県豊田市 ◎ 出展者：103ブース（うち道内企業は12ブース） ◎ 来場者：トヨタ自動車関係者など 約2,250名
北海道、(独)中小企業基盤整備機構北海道本部

③ 東北地域との連携による「工場見学・交流会」の開催【再掲】

<p>北海道・東北の企業を参集し、工場視察及び製造部品・治工具等の概要説明等を実施したほか、北海道・東北企業の交流会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ アイシン北海道「参入交流会・工場見学会」 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日/開催地：平成30年2月13日/苫小牧市 ・参加企業：北海道 25社2団体、東北 12社4団体
<p>岩手県・秋田県内において、工場視察及び交流会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 東北地域工場見学会・交流会 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日/開催地：平成30年2月22日、23日 <li style="padding-left: 20px;">岩手県(トヨタ自動車東日本(株)岩手工場)、秋田県(秋田渥美工業(株)) ・参加企業：北海道 3社1団体、東北 4社
北海道

(2) 物流の効率化に向けた取組の推進

物流コストの低減に向けて、企業へのアドバイスや共同物流のコーディネートを行う専門家配置や物流効率化に向けた課題を整理するため、物流現場の視察会などに取り組む。

① SCM（サプライチェーンマネジメント）研究会による視察会の実施【再掲】

北海道・札幌市・（一社）北海道商工会議所連合会と連携し、「SCM（サプライチェーンマネジメント）研究会」として、現場視察・意見交換会開催
◎ 第9回視察会：平成29年7月4日 札幌中央卸売市場
◎ 意見交換会：平成30年1月15日 研究会監事メンバー
北海道経済連合会

② 物流コスト低減に向けた参入支援エキスパートの配置

物流コストの低減に向けた専門の「参入支援エキスパート」を1名配置
北海道、（一社）北海道機械工業会

(3) ものづくりの魅力のアピール

本道ものづくりの環境や可能性等の発信に効果的なイベント等を活用し、本道ものづくり産業の優れた技術やものづくりの魅力を発信した。

① 次世代自動車産業集積・人材育成事業【再掲】

大学生・高専生・高校生を対象とした現場見学会や出前授業などを実施し、ものづくり現場の魅力を広くPR
◎ ものづくり企業の現場見学会：3回（参加者：82名）
◎ ものづくり企業による出前授業：3回（参加者：194名）
◎ 製造業で活躍する社員（ロールモデル）を取材したのものづくりPRリーフレット「つくりと」作成
◎ ビジネスEXPOでの「ものづくりなでしこゾーン」展開
「2017サイエンスパーク」において、ものづくり産業への理解促進を図るため、子どもや若者が「見て」「聞いて」「体験」できる各種の取組を展開
◎ 「2017サイエンスパーク」への北海道自動車・ものづくり産業ゾーン出展 ・開催日/開催地：平成29年7月28日/札幌市
「ラリー北海道2017」と連動して、来場する若者をはじめ広く一般道民に本道ものづくり産業が持つ次世代自動車関連技術等を発信
◎ 「ラリー北海道2017」への北海道自動車産業ゾーン出展 ・開催日/開催地：平成29年9月15日～17日/帯広市
「札幌モーターショー2018」において、北海道発EV開発の取り組みをはじめとした道内ものづくり企業の技術力やものづくりの魅力などのPRを実施
◎ 「札幌モーターショー2018」への北海道自動車産業ゾーン出展 ・開催日/開催地：平成30年1月19日～21日/札幌市
北海道、(独)中小企業基盤整備機構北海道本部

② 次世代自動車の理解促進【再掲】

自動走行やEVなど次世代自動車及び自動車産業等への理解促進を図るため、小学生及び保護者を対象に自動車の自動走行の仕組みの学習、先進安全技術の体験及び電気自動車の展示等を行う「くるま未来体験教室」をNo Maps 連携事業として開催
◎ 「くるま未来体験教室」 ・開催日/開催地：平成29年10月8日/札幌市
北海道、(公財)自動車技術会北海道支部・関東支部、北海道発EV研究開発・利活用研究会

北海道自動車産業集積促進協議会

[北海道自動車産業集積促進協議会の会員数]

協議会設立時(H18. 8. 3)	企業数： 79	支援機関数： 48	計： 127
平成19年度総会時(H19. 6. 13)	企業数： 101	支援機関数： 59	計： 160
平成20年度総会時(H20. 5. 21)	企業数： 142	支援機関数： 69	計： 211
平成21年度総会時(H21. 6. 4)	企業数： 160	支援機関数： 70	計： 230
平成22年度総会時(H22. 6. 3)	企業数： 162	支援機関数： 71	計： 233
平成23年度総会時(H23. 6. 2)	企業数： 173	支援機関数： 72	計： 245
平成24年度総会時(H24. 6. 4)	企業数： 174	支援機関数： 72	計： 246
平成25年度総会時(H25. 6. 12)	企業数： 180	支援機関数： 73	計： 253
平成26年度総会時(H26. 5. 30)	企業数： 181	支援機関数： 72	計： 253
平成27年度総会時(H27. 5. 27)	企業数： 184	支援機関数： 72	計： 256
平成28年度総会時(H28. 6. 14)	企業数： 184	支援機関数： 72	計： 256
平成29年度総会時(H29. 6. 7)	企業数： 186	支援機関数： 72	計： 258
平成30年5月28日現在	企業数： 187	支援機関数： 72	計： 259

【事務局】

北海道経済部（人材育成課・産業振興課(立地担当・ものづくり産業担当)の共同事務局体制)

北海道経済部産業振興局産業振興課ものづくり産業グループ

電話：011-204-5323（直通） ファックス：011-232-2139

URL：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/ssg/sgs/jidousha1.htm>

E-Mail：keizai.sangyousinkou1@pref.hokkaido.lg.jp